

令和4年度第1回越谷市スポーツ推進審議会会議録

1. 期 日 令和4年8月23日（火）
2. 会 場 教育委員会室
3. 開 閉 会 開会 午後3時03分
閉会 午後4時35分
4. 出席委員 16名
佐藤委員、八十島委員、田島委員、関口委員、林委員、小田委員、田中委員、須賀委員、
柿澤委員、上野委員、関根委員、西松委員、村井委員、高橋委員、宮嶋委員、谷内委員
5. 欠席委員 2名
新坂委員、戸田委員
6. 事務局出席者
鈴木教育総務部長、八木下スポーツ振興課長、小野田調整幹、坪内副課長、林主幹、
天澤主査

会 議 次 第
1 開会
2 自己紹介
3 会長、副会長の選出
4 報告事項 (1) 令和4年度教育行政重点施策について (2) 令和3年度越谷市立屋内・屋外体育施設の利用状況について (3) (仮称)越谷市立地域スポーツセンターについて (4) 中学校運動部活動地域移行について
5 その他
6 閉会

◆会議に先立ち、委嘱状交付式が開催され、吉田 茂教育長から各委員へ委嘱状が交付された。

会議内容

- 1 開会 司会：坪内スポーツ振興課副課長
- 2 自己紹介

3 会長、副会長の選出

- 司 会 会長、副会長の選出について、互選の方法を委員に伺う。
- 委 員 （特に意見なし）
- 司 会 事務局の提案として、会長、副会長の選出には、会長に田中委員、副会長に高橋委員をそれぞれ提案させていただく。

特に異議なく、会長田中委員、副会長高橋委員に決定。

4 報告事項

(1) 令和4年度教育行政重点施策について

- 議 長 事務局に説明を求める。
- 事務局 令和4年度教育行政重点施策について、別冊資料に基づき説明する。
- 議 長 委員に質問等の有無を求める。
- 委 員 （意見なし）

(2) 令和3年度越谷市立屋内・屋外体育施設の利用状況について

- 議 長 事務局に説明を求める。
- 事務局 令和3年度越谷市立屋内・屋外体育施設の利用状況について、別添資料2に基づき説明する。
- 議 長 委員に質問等の有無を求める。
- 委 員 （特に意見なし）

(3) (仮称)越谷市立地域スポーツセンターについて

- 議 長 事務局に説明を求める。
- 事務局 (仮称)越谷市立地域スポーツセンターについて、別添資料3に基づき説明する。
- 議 長 委員に質問等の有無を求める。
- 委 員 (仮称)スポーツセンターの使用料について伺いたい。
- 事務局 今後、3月議会で条例を改正する予定であり、近隣の体育施設の使用料を調査することや越谷市内で同規模の体育館である総合体育館第2体育室の使用料を参考にしながら使用料を決めていきたい。

(4) 中学校運動部活動地域移行について

- 議 長 事務局に説明を求める。
- 事務局 中学校運動部活動地域移行について、別添資料4に基づき説明する。

- 議長 委員に質問等の有無を求める。
- 委員 約20年前、国の政策で総合型地域スポーツクラブを導入した際のノウハウ（失敗したことなど）を参考にしてほしい。また、現在の中学校教員の中には、部活動をすることを期待し、教員になった先生もいることや埼玉県教員採用の分野（保健体育）でも部活動指導の能力を加点評価し、採用していることもあり、現場が混乱しないよう緩やかな準備を進めていただきたい。
- 事務局 子供たちが生涯に渡ってどのようなレベルでどんなスポーツをしたいのかアンケート等を実施し、そのニーズに合わせた受け皿を提供していきたい。その子供たちのニーズに応えるうえで体育協会やレクリエーション協会等の各種団体に加え、各地区スポーツ・レクリエーション推進委員会に協力を依頼させていただきたい。
- 委員 現在、自分の孫が野球部に所属していて、親の手伝いで部活が成り立っている状況であった。地域の連携を太いものすることができれば、このような状況を打開できるのではと感じた。
- 委員 越谷市は、国の政策に先立って、戦後の混乱がある中、昭和37年に大沢地区の第1・第2体育館を建設するなどスポーツ分野で先進的な考えを持っている。また、地域の方々が気軽に利用できる地域体育館も全国に先立ち建設していきました。これらのことから、越谷市は、市民目線でスポーツを行うという風土があると思うので、越谷市の良さに合わせたものにしていただきたい。
- 委員 運動部活動地域移行の具体的な運用時期を伺いたい。
- 事務局 令和4年度は、学校教育部と連携し情報収集に努めたい。現段階では、全て部活動に地域移行を適用して、令和5年度から実施することは不可能であると考えます。今後、中体連の部活動の先生方と地域のスポーツ少年団の指導者の方々等と話し合いの場を設けて、競技ごとに纏まりそうなところから始めて、モデルケースを作りながら実施していきたい。
- 委員 小学生よりも中学生の時期というのは、大人の身体に近づいて来るので、スポーツをするうえで重要な時期である。
学校単位での部活がなくなっていくのであれば、越谷アルファーズなどを活用して子供たちに興味を持たせることが重要ではないか。
- 事務局 水泳の分野では、越谷市には各学校に部活はないが、生徒はスイミングクラブ等に所属し、全国大会を目指していることから、地域移行が済んでいるように思われる。しかし、現在、生徒は、部活動に所属しなくてはならないので、既存の部活に名前だけ所属しているという歪んだ仕組みを解消しなくてはならない。
また、アルファーズはプロチームなので、ユース・ジュニアチームがあります。小学生・中学生を対象としたバスケット教室を開催するなど、積極的に活用していきたい。

- 委員 運動が不得意な生徒をどう救っていくのか、また部活を地域移行すると学校の生活と切り離されてしまう。これからも学校との連携が必要ではないか。
- 事務局 中学校の部活動というのは、オリンピックのニュースポーツの取り入れ等はなく、決まった種目しかないのが現状である。運動が得意ではない生徒についても、興味を持てるようなスポーツを提供したい。例えば、ビーチボールバレー等、色々なスポーツをするには、各地区スポーツ・レクリエーション推進委員会の協力をしていただき、子供たちのニーズに応じたものを提供していきたい。
- 委員 現在と今後の学習指導要領は、国数理社のほか総合的な学習の時間、プログラミングや外国語など子供たちが必修で行うことが多くなりすぎていて、入ってきたのはいいが、削るということはしていない。先生は、もちろん大変だが、それ以上に子供たちは、それをこなさなければならないので、部活動に費やす時間がないのではないか。
- 委員 指導者資格について伺いたい。部活動地域移行の指導者の部分でおそらく今のままでは、日中働く現役世代ではなく、時間が余裕ある退職した世代が多くなることが想定されるのではないか。
- 事務局 大人と生徒が生涯スポーツを楽しむということであれば、体育協会やレクリエーション協会の団体に受け入れを要請することは容易であると思うが、生徒を「指導する」ということであれば、これらスポーツ振興課が所管している生涯スポーツ団体に要請することは難しい。今後、佐藤教授が言われていた越谷市に合ったものを精査しながら行ってきたい。
- 議長 報告事項はすべて終了したので、進行を司会にお返しします。

5 その他

- 司会 その他に意見を求める。
- 委員 (特に意見なし。)
- 司会 事務局に連絡事項の説明を求める。
- 事務局 配布冊子の第3期越谷市教育振興基本計画スポーツの分野について説明した。
- 事務局 ①委員報酬②次回の審議会(開催時期来年2月)③8/28開催のイースタンリーグ④現在開催中の特別展覧会(生涯学習課主催)について説明した。

6 閉会 高橋副会長